

常任委員会

一般会計予算の増額補正 総務

議案第12号
平成28年度一般会計補
正予算(第5号)

(提案理由) 歳入歳出予算、繰越明許費、債務負担行為及び地方債の補正であり、既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ48億2千627万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ567億76万円にしようとするもの。

■委員 繰越明許費の都市河川整備事業費(くり堀川)の進捗の見込みは。

□当局 工事延長として、尾崎小学校の裏門から反対側の団地へ46.5メートルを予定しており、総延長千199メートルのうち、千34メートルの完了を見込んでいる。進捗率は86.3%となっている。

■委員 学校施設環境改善交付金の中に福田中学校及び川間中学校のトイレ改修工事の予算が計上されているが、そのほかに工事が完了していない学校は何校あるか。

□当局 工事が完了していない学校は、岩名中学校、関宿中学校、木間ヶ瀬中学校の3校である。

■委員 甲状腺超音波検査の受診希望者が大幅にふえているが、来年度予算の見込みは。

□当局 今年度は725名分を予算計上しているが、来年度については近隣市の状況等を見ても初年度に比べてかなり人数が減っていることから、おおむね今年度の半数程度を見込んでいる。

■委員 連続立体交差事業負担金が増額されているが、これによりどの程度の進捗が見込まれるのか。

□当局 全線の仮線切りかえや下水道の移設工事など駅部を中心に工事をする事になり、当初13%と見込んでいた進捗率が26%を見込めることになる。

◆賛成多数で可決



現在施工中の連続立体交差事業(野田市駅周辺)

環境経済 農業委員会に関する条例等の一部改正

議案第7号
農業委員会に関する条
例等の一部改正

(提案理由) 農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する規定を整備するほか、所要の改正を行うものとするもの。

■委員 農地利用最適化推進委員の職務内容と農業委員との違いは。

□当局 農業委員会は、主に合議体としての意思決定を行う農業委員とは別に農地利用最適化推進委員を委嘱しなければならないという法律が規定された。推進委員は、みずからの担当区において担い手への農地利用の集積や集約化、耕作放棄地の発生防止等の現場活動が主な職務となる。

■委員 農業委員13名の選考方法は。

□当局 今回の法律改正において、公選制は廃止され公募で募集することになっており、地域の代表や団体の代表が優先されるようなことにはならない。大前提として、農業に関する識見

を有し、農地等の利用の最適化の推進に関するその他の農業委員の所掌に属する事項に関して、その職務を適切に行うことができる者であって、あくまで経歴や農業の経営状況、団体の推薦の場合には推薦理由、応募の場合は応募理由などにより判断することになる。

■委員 新制度に移行している近隣市の状況等は。

□当局 農地利用最適化推進委員ができたからといってすぐに荒れ果てた農地が解消されるというものではないことから、現在、県や中間管理機構から講師を呼んで研修を重ねるなど試行錯誤の状況であると聞いている。

◆全会一致で可決



農地利用の最適化を目指して

常任委員会

市立南・北図書館、南・北コミュニティ会館の指定管理者の指定ほか

文教福祉

議案第9号

市立南図書館、市立北図書館、南コミュニティ会館及び北コミュニティ会館の指定管理者の指定

(提案理由) 市立南図書館

市立北図書館、南コミュニティ会館及び北コミュニティ会館の指定管理者として、野田TRCグループを指定しようとするもの。

■委員 図書館に来庁できない方へのサービスの対象は。

□当局 例えば、視覚に障がいを持った方については、一般図書は閲覧できないことも考えられることから、それにかわる録音図書などを職員が自宅に届けるサービスを行っている。また、高齢者の方で図書館に来館できない状況があれば同様の対象としている。

■委員 無期契約の正社員の人数と雇用形態は。

□当局 指定管理者の提案では、当面は館長のみを無期の正社員、そのほかは契約社員という雇用形態となるが、希望があれば正社員へ変更していくとのことである。

■委員 図書の宅送サービスは、将来的に南・北図書館でも実施を考えているか。

□当局 宅送サービスについては、市の事業となっており、現状では市職員が希望者の自宅へ届けている。将来的に南・北の図書館において同様のサービスを実施するかについては検討していない。

◆賛成多数で可決

議案第10号

関宿総合公園及び市営関宿少年野球場の指定管理者の指定

(提案理由) 関宿総合公園及び市営関宿少年野球場の指定管理者として、毎日・首都圏・シンコースポーツ共同事業体を指定しようとするもの。

■委員 指定管理者候補者採点結果表の中にある管理経費縮減のための具体的な方策等において、評価項目の点数の大きな差は何か。

□当局 現在も廊下や通路は一部LED化になっているが、メインアリーナのLED化を進めることで毎日・首都圏・シンコースポーツ共同体のほうが点数が

高くなっているものである。

■委員 調光機能つきと通常のLEDとの違いは。

□当局 調光機能付きのLEDは、周りの光の明るさに応じて自動調整できるものであり、調光機能がついていない通常のものに比べ金額も高くなる。

■委員 グラウンド・ゴルフ場の夏季早朝営業の緊急時の態勢について、従業員を1名出社させる予定とあるが、緊急時の対応とはどういったことを想定しているのか。

□当局 高齢者がグラウンド・ゴルフ場を使用中に具合が悪くなった場合など、救急車の手配や案内などに備えるものである。

◆賛成多数で可決



関宿総合公園

建設

地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正

議案第8号

地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正

(提案理由) 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律の一部改正による野田都市計画次木親野井地区地区計画の変更に伴い、建築物の用途の制限に係る規定を整備しようとするもの。

■委員 この条例改正は法律の改正に伴う号番号の整備という認識でよいのか。

□当局 風営法の改正があったことに伴い、号ずれが生じたことから条例改正しようとするものである。

■委員 別表第2(第5条)において、建築物用途の制限の内容が地区によって違う理由と統一することについての見解は。

□当局 次木親野井地区については、平成8年4月以前に関宿地域で定めたものであり、その当時のものは変えずに現在もそのままの表現を用いている。今後については、統一した表現を用いることを想定している。

◆全会一致で可決